



**号 外**  
 平成21年11月26日  
 発 行  
 朝日庄内森林環境保全  
 ふれあいセンター

**ウエツキブナハムシについて**

月山周辺でブナの葉を大規模に食害して話題となったウエツキブナハムシについてご紹介します。

<b>ウエツキブナハムシ</b> <i>Chujoa uetsukii</i>	
分 類	甲虫目ハムシ科 ヒゲナガハムシ亜科 <span style="float: right;">分 布 本州、四国、九州</span>
被 害	幼虫、成虫ともにブナの葉肉のみを食害し、被害葉は葉脈だけが残る。被害は数年で終息するといわれている。葉は喰われるが、ナラ枯れのように枯死することはない。
生活史	年1世代で、8月頃に成虫が出現。卵は20～200程度の卵塊としてブナの葉に産卵。幼虫は葉の上面について食害し、若齢時には一葉に数十頭の集団でいるが、成長とともに分散し、終齢時にはほぼ一葉に一頭ずつ付着している。食害量が多くなるのは8月下旬から9月上旬で、この頃以降に被害が目立つ。老熟幼虫は9月上旬頃から土中に蛹室をつくり幼虫のまま越冬する。



卵 (左 他は ふ化後の卵殻)



蛹室と越冬体勢の幼虫

蛹室と蛹



幼虫

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/siryou/uetuki.html>



蛹は、大量発生地で多数見られたこと、蛹室の形状が飼育下で確認したものと同じであったことから推定

## 被害状況



## 食痕

幼虫は全面舐めるように。

成虫の食痕は線状に跡が見られ、食べ残しも多いため、より濃い褐色に枯れる。



幼虫の食痕



成虫の食痕



右上が幼虫、左下が成虫

## 天敵



ボーベリア バッシアナ



ヒガラ